

【令和7年度】障がい者虐待防止・権利擁護研修 令和6年度大阪市障がい者虐待防止啓発講演会

F B 2025-1/1 【第1部】 障がい者虐待の実態の理解

ユーザフルネーム	日付	理解度報告	ご意見など足跡を残してください。
土門 弘治	2026年 02月 24日(火曜日) 10:47	全て理解できている	理解自体はできていると感じるが、個人の意識に留まり、現場全体の行動変容にはつながっていない。注意喚起や共有をしても継続せず、仕組みとして根付かせる方法が見えていないのが課題。知識を確認する機会だけでなく、日常業務の中で振り返りや相互確認を行う流れを作らなければ実践には結び付かないと痛感する。
安田 愛子	2026年 02月 10日(火曜日) 09:10	全て理解できている	虐待はどんな時でもしてはいけません。しつけど言い切って言葉の暴力や手を出すことで解決にはなりません。
阿部 美穂	2026年 02月 11日(水曜日) 20:39	既に業務で実践している	環境要因や職員自身の言動・関わり方を含め、支援方法の振り返りを継続的に行うことが重要だと感じた。

F B 2025-1/1 【第2部】 施設内虐待の対応を考える

ユーザフルネーム	日付	理解度報告	ご意見など足跡を残してください。
土門 弘治	2026年 02月 24日(火曜日) 10:49	全て理解できている	虐待の判断基準や初動対応の流れを具体的に理解でき、迷いなく行動できるイメージを持てた。ロールプレイを通じて通報・共有のタイミングや記録の重要性も整理でき、個人対応ではなくチームで対応する必要性を実感した。今後は事例を用いた振り返りを継続し日常の観察と早期対応につなげていきたい。
安田 愛子	2026年 02月 10日(火曜日) 09:25	既に業務で実践している	職員間のコミュニケーション不足にならないよう、日々保育の様子を話して情報共有している。対応の仕方についても相談しあえています。

阿部 美穂	2026年 02月 11日(水曜日) 20:53	既に業務 で実践し ている	職員同士が率直に指摘し合えるような施設環境が大事であり、上下関係にとらわれず意見を共有できる職員間のコミュニティが必要。
-------	--------------------------------	---------------------	--

F B 2025-1/1【第三部】 養護者による虐待の対応を考える

ユーザフルネーム	日付	理解度報告	ご意見など足跡を残してください。
土門 弘治	2026年 02月 24日(火曜日) 10:52	全て理解 できている	養護者による虐待発見時の報告経路、関係機関との連携、支援開始までの流れを具体的に理解できた。職員個人の判断に委ねず、記録と共有を基準に対応する必要性を再認識した。今後はマニュアル確認を定期的に行い、ケースを想定した訓練を通して誰でも同じ対応が取れる体制づくりに取り組みたい。
安田 愛子	2026年 02月 10日(火曜日) 09:39	全て理解 できている	大阪市はDVが多く、家族介護からの疲れなどによる虐待も多い。家族だけで抱え込むのではなく、地域との連携を大切に、虐待防止につとめていきたい。
阿部 美穂	2026年 02月 11日(水曜日) 21:14	既に業務 で実践し ている	客観的な事実確認と正確な記録を行うとともに、家族の孤立や介護負担、経済的困難などの背景要因についても把握する必要がある。

F B 2025-1/1大阪市の障がい者虐待の実態について(大阪市福祉局)

ユーザフルネーム	日付	理解度報告	ご意見など足跡を残してください。
土門 弘治	2026年 02月 24日(火曜日) 10:54	全て理解 できている	大阪市の統計や事例から、虐待が発生した際の通報後の流れと関係機関の役割を具体的に理解できた。事後対応だけでなく、日々の記録や小さな変化の共有が早期発見につながることを認識し、制度理解を現場の観察に結び付け、予防と初動対応の両面で活用していきたい。
安田 愛子	2026年 02月 10日(火曜日) 09:52	全て理解 できている	身体的虐待が一番多いとされている。利用者さんの様子がおかしければ、迷わず通報することが大切です。

阿部美穂	2026年 02月 11日(水曜日) 21:30	既に業務 で実践し ている	日常的な支援の質を高め、虐待のリスクを未然に防ぐことが重要。
------	--------------------------------	---------------------	--------------------------------